

12月20日 菊池農業高校 生徒が文化会館の花壇を植え替え

菊池農業高校の生徒5人が、市文化会館の花壇の花を植え替えました。6月に植えた花や雑草を取り除き、色とりどりのパンジーを手際よく植え替えていました。生徒の皆さん、ありがとうございました。



文化会館を利用される際は、鮮やかな花をお楽しみください

12月22日 ダンススクールGROWACT 市内の小学生が全国大会に出場

ダンススクールGROWACT(吉富)のチーム「A子倶楽部」に所属している市在住の小学生4人が、東京で開催された「SFTダンスコンテスト全国人数制ダンスコンテスト2024後期全国大会」に出場し、審査員特別賞を受賞しました。



⑤から鞭馬鈴さん(戸崎小5年)、菅原咲愛さん(泗水小6年)、梁池音絢さん(泗水小5年)、西弥栄さん(泗水小5年)

12月24日 熊本県援護事業功労者表彰 藤江サチ子さんが受賞

藤江サチ子さん(津留)が県援護事業功労者表彰を受賞しました。藤江さんは旭志遺族会女性部長に就任されてから約20年、旭志遺族会副会長や市遺族会副会長として献身的に活動。英霊顕彰事業に貢献したことが評価されました。



藤江さん⑤は「少しでも皆さんのお手伝いができればと、地域のために活動してきました。これからも頑張りたいです」と話しました

12月16日 倉敷紡績(株)熊本事業所 市内保育所にタオルハンカチを寄贈

森北工業団地内に工場を立地する倉敷紡績(株)熊本事業所が、自社技術を用いた抗菌・抗ウイルス加工のタオルハンカチを市へ寄贈。地域貢献・地域活性化の一環として、市内保育所を代表し、菊池さくら保育園に贈りました。



佐野慎吾所長⑤は「手洗いやうがいの後に使ってください」と園児に伝えました

12月20日 ふるさと菊池応援大使 松本俊明さんの任命式とコンサート

作曲家でピアニストの松本俊明さんがふるさと菊池応援大使に任命され、菊池南中学校で任命式がありました。式後のピアノコンサートでは、同中や隈府小学校、第2さくら幼楽園の子どもたちが松本さんの演奏を鑑賞しました。



コンサートでは、松本さんが作曲したMISIAの「Everything」の演奏の他、「見えない羽根」を全員で合唱しました

12月24日 第2さくら幼楽園 園児たちにクリスマスプレゼント

第2さくら幼楽園で栄町老人会と合同のクリスマス会が開催されました。大道芸人の坂本春男さん(北宮)が登場し、変面とバルーンアートを披露。パフォーマンスを見た園児と老人会の皆さんから驚きの声が上がっていました。



会の冒頭にはサンタさんが登場し、園児と老人会の皆さんにプレゼントが贈られました

11月5日 プラチナ未来人材育成塾 未来に向けて。中学生が参加報告

未来のリーダーを育てることを目的に、昨年夏に東京で開催された「プラチナ未来人材育成塾」に参加した市の代表生徒6人が、市役所で報告会を行いました。著名な講師の講演を聞き、それぞれの考えを発表しました。



意見交換では、参加して感じたことや成長できたこと、後輩へ伝えたいことなど、質問された内容に自ら考えて意見を伝えました

12月10日 長年の功績をたたえて 米村眞さんが瑞宝双光章を受章

米村眞さん(雪野)に瑞宝双光章が授与されました。米村さんは大学卒業後に東京都内の郵便局に就職し、昭和59年6月に本市の竜門郵便局長に就任。県北部地区連絡会地区副統括局長としても活躍されました。



米村さんは40年間にわたり郵政事業の発展や後継人材の育成などに尽力されました

12月16日 無料学習塾「NEW STEP」 保育施設におもちゃを寄贈

無料学習塾「NEW STEP」が、日本航空(株)の「JAL子どもの夢応援マイル」の一環で配布された木製の玩具を市内の5保育施設に寄贈しました。第2さくら幼楽園で贈呈式があり、園児は「積み木でたくさん遊びたい」と笑顔を見せました。



三川翔夢代表⑤は「木のぬくもりを感じるおもちゃで想像力を膨らませながらたくさん遊んでほしい」と話しました

9月24日 菊池女子高校 高校生が着付けの全国大会で入賞

全日本きもの着付け選手権全国大会で菊池女子高校(いづれも3年)の杉浦心美さんが優勝、塚本美姫さんが2位、古庄花音さんが特別賞を受賞しました。杉浦さんは「母の振り袖を着ることができてうれしかったです」と話しました。



⑤から古庄さん、杉浦さん、塚本さん

12月7日 菊池ふるさとかるた大会 ふるさとかるたで真剣勝負

市総合体育館で菊池ふるさとかるた大会(主催:市青少年育成市民会議、市教育委員会)が開催され、市内の各小学校から26チーム90人が参加しました。市内の名所旧跡を題材としたかるたを通し、ふるさとについての学びを深めました。



14回目を迎えた本大会。児童たちは練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました

12月15日 岩本巻天神(岩本区) 岩本神楽 旭志中学校の生徒5人が神楽を奉納

岩本巻天神に鎮座するムクの木の前で、旭志中の生徒が150年以上の歴史がある岩本神楽(市指定無形民俗文化財)を奉納しました。例年は氏子のみで奉納しますが、昨年8月から練習を重ねた生徒が8座のうちの1座を舞いました。



舞人を務めた3年の井上偉月さんは「岩本巻天神さんの前で歴史のある神楽を披露できてうれしいです」と話しました



1月27日 第129回熊日緑のリボン賞

東福寺周辺整備委員会と堀江清次郎さん・昭子さん夫婦が受賞

■東福寺周辺整備委員会 同会は亘の東福寺周辺の景観を守ろうと平成25年に地元の住民で結成されました。会員23人で、現在は東福寺をはじめ、金比羅神社や築地井手周辺などを月に1回除草作業しています。



昨年は東福寺横の民有地の放置竹林を整備。数百本におよぶ竹を伐採しました

■堀江清次郎さん・昭子さん夫婦 野間口で設備業を営む堀江さん夫婦は、トラックを交代で運転し、東日本大震災の後から被災地に支援物資を届けています。昨年は能登半島地震の被災地も経由して、支援金や物資を届けました。



堀江さん夫婦は令和2年7月豪雨の際も、遠野市NPO法人からの支援物資や集めた寄付を人吉へ運び、支援活動を行いました



1月28日 菊池農業高校

高校生が日本の伝統的な染色を体験

万葉集にも登場する多年草のムラサキを使った染色体験が菊池農業高校で行われました。菊池でムラサキの普及活動に取り組む坂本博さん(高野瀬)や村田達郎さん(西正観寺)らを講師に迎え、生活文化課の1年生21人が受講しました。



松岡夢音さんは「初めてでしたが楽しかったです。色むらができないようにしわを伸ばし染めることが大事だと教わりました」と話しました



2月9日 都市対抗熊日駅伝

菊池都市チームが3位

第51回都市対抗熊日駅伝が天草市～熊本市で開催されました。今年は男女一本化の開催となり、菊池都市は3位入賞。市からは鶴田祐樹選手(旭志中出身)と渡邊颯斗選手(菊池北中3年)と廣川楓華選手(菊池南中出身)が出場しました。



前日に行われた結団式では、中原稔さん(菊池南中3年)が選手宣誓を行いました



1月20日 菊池警察署 人命救助に感謝

中島豊さんに菊池警察署から感謝状

中島豊さん(新古閑)に、菊池警察署長から感謝状が贈られました。中島さんは牛舎で作業中、助けを求める声を聞き、暗闇の中、用水路にはまり込んだ行方不明の女性を救出。迅速に通報し、毛布を掛けるなどして救護しました。



女性が退院したことを聞いた中島さん(㊤から2番目)は、「気になっていたので、治療が無事に終えたと聞き安心しました」と話しました



1月28日 中学生女子ソフトボール大会

市内中学生3人が全国大会に出場

3月28日(金)～30日(日)に開催される第21回都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会の県選抜に、山内あいさん(菊池南中2年)と仁木柚杏さん(菊池南中2年)と山下愛心さん(菊池南中1年)が選出されました。



3人は全国大会出場のため市役所に訪れました。㊤から山下さん、仁木さん、山内さん



12月29日、1月14日 菊池川流域日本遺産 構成文化財「馬作り」

農耕馬の健康を祈願する伝統行事を子どもたちが体験

■馬つくり(前川区) 毎年12月29日にわらで馬を作ります。農家にとって大切な労働力だった馬へ、一年間の労をねぎらい感謝する行事として始まり、子どもたちが集まって作業していました。今も保存会の人たちによって継承されています。



以前は1月2日でしたが、7年ほど前から12月29日に変更。今回は小学5年生が馬つくりを体験し、かっこいい馬が完成しました

■初馬売り(龍門1区虎口) 1月14日、わらや竹で作った馬を子どもたちが地域の家庭へ配りました。牛馬の一年間の無病息災を願って始まったと考えられていて、元々は子どもたちが作っていましたが、近年は大人と一緒に作製しています。



馬は各家庭でお菓子や餅、ミカンなどと交換され、神棚や床の間などに飾ります



1月5日 全国社会を明るくする運動作文コンテスト

園木理仁さん(七城小6年)が入賞

全国社会を明るくする運動作文コンテストで園木理仁さんが全国連合小学校長会会長賞を受賞。県では松岡知里さん(菊池北小5年)と園木さんが県推進委員会委員長賞、末田風和さん(限府小6年)が熊本日日新聞社賞を受賞しました。



市内の小中高生を対象に犯罪や非行のない地域社会づくりについて考えたことなどをテーマとして、作文を募集しました



12月25日～27日 プラチナ・森の学校きくち

自然の中で未来のリーダーを目指す

9回目となった今回は、市内の中学校から約40人が参加し、国内外で活躍する講師による講話とフィールドワークを実施。多様な物の見方があることを学び、身近な地域や世界規模の課題をグループで話し合いました。



最終日は2050年の社会で菊池や日本、世界がどうなってほしいか、自分に何ができるのかについてさまざま視点から発表しました



1月10日、21日 宝くじ助成金事業

宝くじの助成金で施設を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、姫井区に無線放送システムが整備され、辻区には公民館が設置されました。地域住民の安全確保やコミュニティ活動の活性化が期待されます。



㊤辻区に設置された公民館 ㊤姫井区に整備された無線放送システム



1月7日 インターナショナルファンデ

市在住の外国人が正月遊びを体験

菊池国際交流協会(合志和洋会長)と菊池女子高校が共催で、市在住の外国人と市民の交流を目的にインターナショナルファンデを開催しました。羽子板やすごろくなどの正月遊びや琴の演奏体験の他、食事会で交流を深めました。



フィリピン出身のロッドさんは「羽子板やけん玉が楽しかった。またみんなでやりたいです」と話しました